

令和3年度 重富中学校だより

校訓「自主」「粘り」「礼儀」「規律」



みどりの風



令和4年1月25日発行

「これから求められる力」

校長 米山 武彦

新しい年が始まりました。大晦日と元旦で、目に見えて何かが大きく変わるということはありませんが、心の持ちようが変わるのはとても不思議なものです。毎年のことですが、「節目」というのは大事だと思います。

さて、15日に南太平洋のトンガ諸島で大規模な噴火が発生しました。約8000キロ離れた日本でも漁業関係者を中心に大きな被害を受けました。当初、気象庁は「日本では多少の潮位の変化があるかもしれないものの被害の心配はない」と発表しましたが、その後、突然「津波警報」が出されました。

気象庁は、日本への影響を考慮して、約10万件の過去のデータやトンガと日本の間にある各国の「験潮所」で観測された潮位変化の値などを基に津波の予測にとりかかったといます。潮位変化は20センチ未満という結果が導き出されましたが、実際には予測より3時間も早く全国で異常な潮位の変動が起こり始め、奄美市小湊では津波警報の基準を超える1.2メートルを観測されました。

これからの社会では、A I（人工知能）が社会のあらゆる場面で活躍することが確実です。A Iは、蓄積されたデータを基にいくつかの選択肢の中から正しいものを選んだりすることは優れており、人間の能力をはるかに超えています。チェスや囲碁のチャンピオンがA Iと勝負しても勝てない時代です。この点で人間はおそらくかないません。

しかし、蓄積された膨大なデータの中にある事象に対して柔軟に反応することや、「直観」で物事を判断することは苦手なのだそうです。A Iは人間との協働で最大の能力を発揮することになります。今回のトンガの火山噴火による津波も、今までの津波と全く異なるデータにない津波だったため、正確な津波の予測ができませんでした。今後は、想定外の状況に対応できるように人間が力を合わせて協力・共生・協働しながら、それぞれの役割を果たしていくことが求められるのだと思います。

学校では、授業において「教える」から「学ぶ」へのパラダイム転換を図っています。課題解決のために他の意見を取り入れたり、協働で解決したりする場を設けるようにしています。予測困難な時代に生きる子供たちに求められる力を身に付けられよう学習指導要領に沿って教育活動に精一杯取り組んでまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

お願い

新型コロナウイルス感染症が急速に拡大しております。引き続き、登校前の検温、マスク着用、手洗い、手指消毒などの感染症対策にご理解とご協力をお願いします。

また、お子様や同居の家族に登校前に発熱（平熱よりも高い）、咳、喉の痛み等の風邪の症状がある場合は、登校を控え病院を受診するようお願いします。なお、その場合は、必ず学校へご連絡ください。